

令和4年8月 福井県南越前町豪雨災害に対する先遣隊活動の終了について

令和4年8月4日から大雨により福井県南越前町には8月の24時間降水量が観測史上1位を記録し、町内を流れる一級河川の鹿蒜川が氾濫した。住宅への床上・床下浸水の被害、断水によるライフラインの被害、斜面崩落や土砂流出による道路の損壊など、町内に甚大な被害が確認された。本学会の先遣隊は8月7日から現地で活動を行なった。主な活動地区は南今庄、新道、二ツ屋、大桐、赤萩地区で、各地域住民の健康観察、仮設トイレの環境整備、ボランティアの健康管理等を行なった。

活動にあたっては関係各所との調整、ボランティアセンター、南越前町保健師、診療所等と協力しながら活動を行なった。心のケアチームであるDPATも活動を開始し、住宅の土砂撤去、住宅応急修理、支援金など被災者支援を動き出しており、物心両面での支援体制が構築されつつあるため、13日（土）をもって先遣隊の活動は終了した。連日の猛暑で被災者の疲れはピークを超えているため、継続的な支援が今後も必要である。今回の被災を教訓に福祉避難所のあり方や要配慮者への個別避難計画策定に対する提言を行い、少しでも被災者の生活環境を整えることにつなげることが重要である。